

科学研究費補助金（学術創成研究費）研究進捗評価

課題番号	17GS0316	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	光合成電子伝達系のダイナミクス：未知のネットワークの解明		
研究代表者名 (所属・職)	鹿内 利治（京都大学・大学院理学研究科・教授）		

【平成20年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

PGR5 を中心とした光合成電子伝達系の研究は着実に進展し、いくつかの重要な知見も得られている。研究目的も明確で、期待度は高い。

今後は視野を広く保ちつつも焦点を絞った研究を進めることで、サイクリック光合成電子伝達系に関する新しい概念を提案するような、大きな研究成果を挙げることを期待する。

【平成23年度 検証結果】

検証結果	研究進捗評価結果どおりの研究成果が達成された。
A	<p>本研究は、光化学系 I における PGR5 タンパク質の機能を解析するとともに、チラコイド膜を介した還元力伝達系の証明、NDH 複合体と光化学系 I との超複合体形成の意義など、研究成果を数多く示し、光化学系 I サイクリック電子伝達の重要性と分子実態に関して、多くの部分を明らかにした。近い将来、研究代表者により、光化学系 I サイクリック電子伝達に関する斬新な概念を提案できるものと期待される。</p> <p>研究進捗評価以降、質の高い国際学術雑誌で複数の研究成果が公表されており、また国際シンポジウムでの講演も多く、研究成果の公表は十分になされていると判断される。</p>